

生きなさい、愛しなさい、夢を見なさい、信じなさい

イズコ神父

一ヶ月前に（9月20日）、教皇フランシスコは、ローマの聖ピエトロ広場に集まった多くの人たちに向かって、美しい話をなさいました。その目的は「何時も希望を持って生活するように」との招きでした。そして、希望を持っていつも生きるように、いろいろなことを話してくださいました。教皇様の言葉をまとめてみました。

そのメッセージを黙想するように皆さんをお招きします。

兄弟の皆さん：今日は、父が自分の子に、信頼深く話すのと同じように、私はあなたに話したいと思います。希望について話したいのです。よく聞いてください、そしてゆっくり考えて下さい。

神はあなたを蒔いた。どんな畑に蒔かれても希望を持ちなさい。いつも希望していなさい。

暗い夜に入っても諦めないでください。一番危ない敵はあなたの外にいません。

中におります。苦しくて暗い考えをあなたの心に入れようとします。それに耳を傾けてはいけません。希望と信仰は抱きあって一緒に歩みます。一番気高い心、一番美しい心を信じなさい。創造者である神を信じ、全てを導かれる聖霊を信じ、この世を去る時、私たちを待っておられるイエスキリストを持って信頼しなさい。キリストは愛の心を持ってあなたを待っておられます。

この世の中で、あなたの戦いが役に立たないと思わないでください。このような道は失敗に終わることはありません。神が失望を与えられることはありません。私たちの心に永遠の命の希望を置かれた神はその夢をむなしくしません。あなたも、永遠の春になって、花を咲かせます。

どこに居ても立っていなさい、落ち込んでいるなら、立ちなさい。落ちた状態のままではいけません。腕を組んで何もしないでいるなら、歩き始めなさい。何もしていないなら、良い業を行いなさい。

自分の中が空っぽだと感じるなら、聖霊があなたを満たすように祈りなさい。平和を蒔きなさい。憎しみや分裂を注ぐ人に耳を傾けないでください。人は皆、違うところがあっても、一緒に住むように創造されています。忍耐したらすべての人の中に真理の小さな光が輝いていることがわかるでしょう。

一人一人を愛しなさい、他人の道を尊敬しなさい。たとえその道が正しくないと思われても、一人ひとりには自分も歴史がありますから。生まれるすべての赤ちゃんは永遠の命の約束を持っています。生まれるすべての人は幸せをもたらす希望があります。

イエスキリストは、暗闇の中に輝く光をあなたの手に渡してくださいました。その光

を守り、大事にしてください。その一つの光は宝物、そして、夢を見なさい。まだ見えないですが、必ず来る素晴らしい世界を、大きな希望を抱いた多くの人はこの世界に素晴らしいものを持ってきました。

勇気という賜物を毎日祈りなさい。思い出しましょう！イエスは私たちのために怖れに打ち勝った。その信仰は私たちの心から奪い取られるものではない。そして、どんな難しい時にもあなたは一人ではない。あなたは神の子です。そして洗礼の時からあなたの命は神のうちにいます。あなたはイエス様のものです。いつも真理を話してください。謙遜に、おごらず、自分自身が正しいと思っても、他人の言葉を退けないでください。逆に、他人の心配を心に止めなさい。祈りなさい。他人のために。間違った時には起き上がりなさい。謝るのは人間らしいことですが、その誤りの奴隷にならないように気をつけなさい。神の子は元気な人ではなく病気の人を癒すために来られました。あなたを癒すために。そして、もう一度間違ったら、もう一度起き上がりなさい。なぜでしょうかと尋ねられたら、神様はあなたの友ですから、と答えます。

苦難に落ちた時、静かに善を行う数知れない人々のことを思い起こしなさい。そのような謙遜な人のおかげで、新しい世界が生まれています。その人を思い出してください。そのような人を思いなさい。神がその人を通して行ってくださる素晴らしい業に目を開きましょう。

生きましょう、愛しましょう、夢を見ましょう、信じましょう。